

**2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）**

2023年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ  
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中山 亮太郎  
 問合せ先責任者（役職名） IR室 室長（氏名） 金 廷賢 TEL 03-6328-4038  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

**1. 2023年9月期第2四半期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）**

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,789	△20.2	△378	—	△374	—	△379	—
2022年9月期第2四半期	2,243	6.8	△17	—	4	△93.5	61	52.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△30.20	—
2022年9月期第2四半期	4.95	4.84

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	7,756	5,206	66.4
2022年9月期	8,255	5,576	67.0

（参考）自己資本 2023年9月期第2四半期 5,148百万円 2022年9月期 5,528百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00			
2023年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）**

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,840	△8.7	△880	—	△880	—	△890	—	△70.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	12,568,700株	2022年9月期	12,568,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期2Q	130株	2022年9月期	130株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期2Q	12,568,570株	2022年9月期2Q	12,487,294株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の想いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（消費者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを運営しております。

また、付随サービスとして企業等が有する研究開発技術を活かした新事業の創出をサポートするMakuake Incubation StudioやMakuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行、プロジェクト終了後ECサイトにて継続販売するMakuake STORE、海外からの応援購入を受け付けるECサイトMakuake Global、全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP等を提供しております。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しが期待されております。中でも、個人消費は政府が実施する全国旅行支援等に後押しされ、旅行及び外食を中心に緩やかに持ち直しております。一方、世界的な金融引き締めが続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクがあることや原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇、金融資本市場の変動等が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社事業は新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の影響を受けております。当該市場は2020年から2021年に掛けて、新型コロナウイルス感染症拡大によって変化したライフスタイルやワークスタイルにより需要が急拡大した後、国内における経済活動の正常化が進む中で落ち着きを戻した形で成長を続けており、今後においても新商品及び新サービスデビューのEコマース市場は非常に高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間は当事業年度（2022年10月1日～2023年9月30日）の成長に向けた基本方針である「顧客満足度向上施策をより強固にすることでリピート顧客から作られる事業の安定成長基盤を拡大すると同時に、獲得に特化した組織を構築することで顧客層をより拡大し潜在市場（TAM）を顕在化していく」ことの施策として、実行者及びサポーターのリピータブルな顧客体験の仕組み作りを進めてまいりました。

具体的には、実行者のニーズをより正確に把握するために全実行者を対象とする満足度調査の仕組みを作り、システムで可視化することで実行者の声に基づいたオペレーション改善が出来る体制を構築したことやプロジェクト掲載までの実行者負担をできるだけ減らすためのオペレーション改善及び機能開発、また、実行者にMakuakeを通じてファンのサポーターを獲得し、積み上がったファンサポーターをベースに事業を成長させる仕組み作り等に関する情報を発信するツール等の新設を行いました。さらに、サポーターアンケートより寄せられた実行者に対するご意見をもとに、改善ポイントや改善方法等を実行者にレクチャーすることでサポーターの満足度向上を図りました。

他方で、サポーター向けには、定期的なサポーターインタビューや応援購入後のアンケート等を実施することでサポーターのリアルな声をもとに実行者と協力し提供サービスの質を向上すると共に、オフラインでプロジェクトの商品を先行して体験できる「先行体験会」を定期的に実施し、実行者との直接的な繋がりや商品開発のプロセスに意見を出せる特別な体験を提供することで単純な「購入」に留まらないMakuakeの「応援購入」をより深く理解していただく機会を増やしました。また、クーポン機能をリリースし、サポーターのニーズに合わせた各種クーポンを発行することでリピート応援購入のきっかけを提供しました。

一方、これらの施策の結果指標となるリピート実行者による掲載開始数及びリピート応援購入金額は、企業の稼働日が減少する1月及び2月において掲載開始件数が減少する季節的傾向の影響によりリピート実行者による掲載開始数は前四半期比161件減少、リピート応援購入金額は94,000千円減少し、955件及び3,130,742千円となりました。また、前事業年度の下半期から始まったリ・オープニングの影響は当第2四半期累計期間中も続いており、応援購入総額は前年同四半期比19.6%減少の8,360,004千円となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,789,246千円(前年同四半期比20.2%減)、営業損失は378,399千円(前年同四半期は営業損失17,699千円)、経常損失は374,151千円(前年同四半期は経常利益4,065千円)、四半期純損失は379,577千円(前年同四半期は四半期純利益61,813千円)となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は7,756,471千円となり、前事業年度末と比べ498,662千円の減少となりました。

流動資産は777,405千円減少し、7,115,122千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が684,308千円減少したことによるものであります。

固定資産は282,764千円増加し、636,484千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が282,637千円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は2,550,063千円となり、前事業年度末に比べ128,720千円の減少となりました。

流動負債は126,671千円減少し、2,489,768千円となりました。主たる要因は、預り金が108,062千円減少したことによるものであります。

固定負債は2,049千円減少し、60,295千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が2,893千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は5,206,407千円となり、前事業年度末に比べ369,941千円の減少となりました。主たる要因は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が379,577千円減少したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前事業年度末に比べ791,185千円減少の6,530,613千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は495,843千円(前年同期は152,220千円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純損失374,151千円、預り金の減少額108,062千円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は295,341千円(前年同期は152,374千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出291,177千円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増減した資金はありません(前年同期は33,784千円の増加)。

## (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきまして、2022年9月期決算発表時から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,193,507	4,509,199
プロジェクト預り用預金	2,128,290	2,021,413
売掛金	339,328	418,646
その他	238,683	173,144
貸倒引当金	△7,282	△7,282
流動資産合計	7,892,528	7,115,122
固定資産		
有形固定資産	-	4,710
無形固定資産	-	282,637
投資その他の資産		
その他	361,257	356,674
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	353,719	349,136
固定資産合計	353,719	636,484
繰延資産	8,886	4,865
資産合計	8,255,134	7,756,471
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	14,565	24,436
預り金	2,138,393	2,030,331
その他	463,481	435,001
流動負債合計	2,616,440	2,489,768
固定負債		
退職給付引当金	1,658	2,502
勤続インセンティブ引当金	60,685	57,792
固定負債合計	62,344	60,295
負債合計	2,678,784	2,550,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,120,279	3,120,279
資本剰余金	3,120,279	3,120,279
利益剰余金	△711,764	△1,091,341
自己株式	△625	△625
株主資本合計	5,528,170	5,148,592
新株予約権	48,179	57,814
純資産合計	5,576,349	5,206,407
負債純資産合計	8,255,134	7,756,471

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,243,204	1,789,246
売上原価	453,463	326,193
売上総利益	1,789,740	1,463,052
販売費及び一般管理費	1,807,439	1,841,452
営業損失(△)	△17,699	△378,399
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	8	24
講演料等収入	5,415	5,215
助成金収入	-	3,326
補助金収入	20,744	-
その他	1,553	367
営業外収益合計	27,722	8,936
営業外費用		
株式交付費償却	5,755	4,021
その他	201	666
営業外費用合計	5,956	4,687
経常利益又は経常損失(△)	4,065	△374,151
特別利益		
投資有価証券売却益	97,500	-
特別利益合計	97,500	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	101,565	△374,151
法人税、住民税及び事業税	43,604	5,426
法人税等調整額	△3,852	-
法人税等合計	39,752	5,426
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,813	△379,577

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	101,565	△374,151
減価償却費	71,125	2,712
のれん償却額	1,999	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△97,500	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	546	844
勤続インセンティブ引当金の増減額 (△は減少)	8,529	△2,893
受取利息及び受取配当金	△9	△26
株式交付費償却	5,755	4,021
売上債権の増減額 (△は増加)	52,692	△79,318
前受金の増減額 (△は減少)	-	5,773
未払金の増減額 (△は減少)	△93,441	△30,583
未払費用の増減額 (△は減少)	14,524	2,740
預り金の増減額 (△は減少)	△125,599	△108,062
未払又は未収消費税等の増減額 (△は減少)	△28,207	1,697
その他	△26,159	32,237
小計	△114,177	△545,008
利息及び配当金の受取額	1	27
法人税等の支払額	△38,083	△2,588
法人税等の還付額	38	51,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	△152,220	△495,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,840	△5,294
無形固定資産の取得による支出	△208,931	△291,177
投資有価証券の取得による支出	△40,020	-
投資有価証券の売却による収入	112,500	-
敷金及び保証金の差入による支出	△2,660	-
敷金及び保証金の回収による収入	4,907	1,130
出資金の払込による支出	△330	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,374	△295,341
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	33,784	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,784	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△270,811	△791,185
現金及び現金同等物の期首残高	8,591,254	7,321,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,320,443	6,530,613

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。